

## 7. 自由記述から

人権問題や啓発活動，あるいはこの調査についての主な意見や要望

<p>日々の生活を送るために所属するいろいろな組織（学校・家庭・会社・地域等）の中で目に見えない言葉の暴力や態度などによる差別は頻発しているように感じる場合があります。差別する側の人には、自分を優位に見せるために理由もなく標的を決めてそういった行為の仲間を作って継続的に行いますが、目に見えない暴力がどれほど人の心を傷つけるのか認識する活動が教育現場や社内教育，地域でも行われればと思います。</p>
<p>どのような人権問題が今実際におこっていて、何が問題なのか、どうしていくべきか学校や会社で定期的に考える場を持つとかより多くの人がある場を持つことが出来たらよいと思います。</p>
<p>同和地区問題は最近の学校教育の中でも教育されているものなのでしょう。現代の子ども達はこういうことはあまり知らないような気がします。知らないけど教育を受けることで知り、知識があるからこそ差別してしまうような気もします。教育することが良いのか悪いのか難しいと思います。</p>
<p>障害者・高齢者を抱えています。大きな商業施設はバリアフリーやトイレが充実していて利用しやすいが車いすを押しながらの買い物はかごが持てないので非常に困難。何か良いアイデアはないものかといつも思う。福祉が充実している三原市であってほしい。</p>
<p>女性の人権とあるが、人権は男性の側にもある。女性の人権の所は逆もありだから…と思いながら書いた。「差別をしてはいけません」というのはいくら言っても差別はなくならないと思う。公的にいくら言っても駄目だと思う。私的というか家でも口先だけではない教育が大切だと思う。</p>
<p>身近な差別問題だと、職場でのパワーハラスメントや子どものいじめになりかねない発言などですが、結局のところ講演会へ参加する事によってある程度の情勢は得る事が出来るのかもしれないが結局パワハラを自分が我慢するのかもしくは退職するのか、だけでパワハラをする本人達がそこへ参加しない限り何も解決しないと思う。本人たちは（パワハラをする）それを当たり前の事と思っている。</p>
<p>人権問題という大きなくりではなかなか人が興味を示さないと思うので、日常の中で関連あることと結びつけて、追加の説明をし、何かのおりに人権問題も取り上げるなど人々の日常の中に取り入れる事が大事だと思う。</p>
<p>人と同じことが平等と特に子ども達が感じ、個性を受け入れにくくなっている気がする。お互いの個性を尊重して、人の良い所は認めてお互いに伸ばして</p>

いくようになってほしい。
人権問題は人間が存在するかぎり、常在するものであることを一人一人に知り、知らせ、守ってもらうためのあらゆる方策を講じ、家庭から親子の対話、地域では町内及び町内会、学校では教員による子どもたち同士での対話、理解、職場では日常的に訓話及び実践、自治体及び行政による更なる広報活動、しいては罰則の設定を含めて、永続的に取り組まなくてはならない。まとめれば、人は生きるために食事を摂り、働き、平等に生きる権利を有するため、どこまでも人権を意識する施策を続けていかなければならない。人が生きることと人権は切り離せないことを、常に社会に伝え少しずつでも前進させなければならない。
人が差別をするのは相手のことをよく知らないからだと思う。“人権問題だから”と区別することなく、自分のコミュニティに近い人と話をしてお互いを理解できたらいいと思う。そのための“〇〇”は（例えば“女性は”“同性愛者は”“犯罪被害者は”など）こうされるとウレシイ。こんなことがあると悲しいことを知る機会が多いといいと思う。
同和問題というのを今回初めて知り、勉強になりました。差別のない世の中になると良いと思っています。
兄弟が障害者です。自分が子どもの頃は、嫌な思いを沢山しました。色々な事に知識が無い方がうわさをします。だから人権問題は他人事ではない事を考えて欲しいです。現実、自分がその立場にいないのが、問題をひどくさせている。興味がない人が増えている。手をさしのべる、聴く耳を持つ若い方が増えて頂けたら、障害者を持つ家族は心が救われます。そして本人も救われます。家族、本人、そして周辺の方、それを理解してくださる方、その事を子ども達に考えさせる場所、全てにおいて一つでも無くてはならない事だと思います。本当に本当に大変でした。心の整理がつくまでは。
いつもお世話になります。「三原市人権問題市民意識調査票」を有難く受け取り、丁寧に回答させていただきました。改めて、さまざまな人権問題があることに驚き、又考えさせられました。この調査を機に人権を尊重する市民にならなければと強く感じました。「世界人権宣言」や「子どもの権利条約」などの文献を再度読み直したりしました。よく知らない法律もたくさんあって、勉強になりました。要は、市民ひとりひとりが差別に気付く目をもつこと、気付いたら即修正すること、これが一番大切だと私は考えます。今後ともよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。くれぐれもお体をお大事に。
同和問題とはどのようなものですか？
同和問題について知らない事が多いのもっと情報があればよいと思う。年

<p>配の方々は詳しいと思うがタブーだと思っている方が多いので話を聞きにくい。もっと知りたいと思う。</p>
<p>人権問題などに対してですが、何かきっかけがないと興味や関心を持っていないのではないかと感じます。身近な方、家族、自分自身が深く考えなければならぬ状況になってしまう、という事は、大なり小なり心に傷を負うというものが前提にあるのだと思うのですが、経験しないと理解できない部分が多いと思います。表面上は理解している、又は、あからさまに態度で示すような事はしなくても、内面では全く逆という方もいらっしゃると思います。根本的な部分を見直すという作業は難しいのかもしれませんが。私自身に関して申し上げるのでしたら、幸いなことに、女性である事や、その他の内容で傷付いた経験がなく、同和問題に関しては、市内にその地域があるのかないのかも知らないまま、今日まで生活してきました。問題を掘り下げて周知することは、確かに必要だと思いますが、中途半端になってしまうと、反対に差別等を引き起こしてしまうのではないかと感じます。</p>
<p>こういう調査がなければ、人権問題について知ることがなかった。同和問題というのがどういうものか全然分からない。</p>
<p>人権問題についての説明をうけ、討論する機会があればよいと思う。高校生あたりの学生が、学校の授業の一環として行うという形にしたなら、ほとんど全員の方が必ず人権問題について少なくとも意識はすると思う。勿論人権問題だけが今この日本、ひいては世界、地球が抱えている問題ではないので、高校で「われわれが直面している問題について考える」授業を必修課程にするといいかもしいかならうと思った。</p>
<p>仕事の関係で高齢者の方々や障害者の方々と接することが多くあります。その際、社会資源の少なさが原因で思うような支援ができないと感じることがあります。</p>
<p>質問自体が難しく、質問を理解するのが難しかった。もう少しわかりやすく質問をしたほうが良いと思いました。</p>
<p>差別はいけません。人は平等です。</p>
<p>人権問題は、あまり差別をしているという感覚がなく日々を過ごしている。</p>
<p>好きであることは差別がないことの担保にはならない、ということがもっと広まればよいと思っています。差別は自分も加害者側になっている可能性がかなりあって、それに気付いたとき、どうリカバリーすればいいかの方法も広まればよいと思います。また、加害者をいさめるのは難しいので、自分がそう思われないよう自戒する必要がある、気を付けているつもりですが、実行できているかわかりません。性別欄が二択ではなかったことが嬉しかったです。選挙時の性別云々もなくなればよいと思っています。</p>

啓発活動をしても、興味をもってもらえるような取り組みをしないと、意味がないと思う。

子どもの時から、こういった調査やアンケートなどをしてきましたが、いじめ・差別に対しての状況は特に変わっていない様に感じます。もっと何か変化につながるきっかけになる様な事はないのでしょうか。

女性に対する人権問題は前からありましたが、最近では、男性に対する人権問題もあるのではないかと思います。女性の痴漢問題は、昔から問題視されてはいましたが、最近では逆に男性が被害にあう問題もあるように聞いていますし、痴漢を行っていないにもかかわらず痴漢したと女性が言えば、そのまま捕まってしまう問題もあるので、男性に対する人権問題もあるのではと思いました。（もちろん痴漢は卑劣な犯罪ですし、女性が本当に被害にあったのならがまんしなさいとは言いません。）上記した内容が人権問題と関係があるのかどうかは分かりませんが、この調査の内容で、男性に対する人権問題についてなかったのを書かせていただきました。

親を介護し、今自分達が高齢者に入ろうとしています。親の世話をしている私達を見て来た子ども達は、やはり弱者に目を向けて行動出来る人間になったと思っています。まわりに目を向けお互い助け合える生活をしたいと思っています。

人権問題とは、他人との違いを奇異な目で見ることから始まる差別問題ではないのでしょうか。奇異な目で見ことをやめ、ありのままを受け入れればこのような問題はなくなると考えます。教育も必要ですが、子どもよりも大人（特に高齢者）に実施すべきではないのでしょうか。子どもは交流をすることで誤解が解け、素直に受け入れるでしょうが、大人は一度ついた偏見はなかなか消えません。なので、大人にしっかり時間をかけ教育する必要があります。最後に、極端な例になりますが、興味があるからちよっかいを出すのですから、いっそのこと無関心になることも必要になってくるのではないのでしょうか。

人権問題などいろいろな人の困難な状況があると思います。なかなか世の中どころか隣人にも言えない、伝えても理解されない、差別されるという実態があると思います。当事者のことは当事者にしか分かり得ない思いです。それをどう行動するかはその人その人の考え方で良いと思います。そのこと事態一人一人の考えを尊重する大事な意見です。分かる人分からない人いろんな人がいて人間です。

人権はあってないようなものだと思っている。差別や区別はどこでも存在するし、嫌な思いもたくさんする。あえて考えるとするなら、自分自身の強い思いや考えをもち、生きていく力をつけることが一番の抜け道だと思う。

<p>普段気にしない人権問題，啓発活動に対するアンケートで苦勞を考えさせられるアンケートでした。生活の中で人権問題や啓発活動であまり気にしなかったことではありますが，アンケートを回答するときに少しは気になりました。答えの出にくい問題ですが少しでもお役に立てればとアンケート記入をしました。少しでも平等な社会となるように頑張ってください。</p>
<p>人は法の下に平等でありあらゆる機会を平等に受ける権利があるべきである。その意味で子どもたちの高校・大学に入学し修学する機会を平等に与えるべきだと考えます。その為高校・大学の無償化を図ることを検討する必要があると思います。</p>
<p>昔は同和問題等沢山ありましたし本当に冷たかったと思います。今は昔と比べると少し落ち着いているように感じます。障害者も同様で昔は大変でした。でも今では少し良くなっていると感じます。障害者問題も今の健常者の目線になっていると思います。これがいつまでも続いたらよくはないと思います。今の目線を少しでも同和問題・障害者に向けて下さればもっと良くなるように思います。</p>
<p>歳を重ねる中で対人関係やその機会も少なくなってきました。家族を中心にした人間関係の中で人間の幸せを考えながら人との関わり人との接触の中で相手を大切にすることの大切さを振り返っております。「人権問題」を具体的な生活事例の中で考えるようにしています。</p>
<p>人権については沢山勉強することがあると認識を新たにしました。</p>
<p>人間一人ひとりに同じ重さの「命」があります。その中で差別し，人権問題が生じる事，本当に悲しい事です。皆一人ひとりが思いやりをもって「普通」に生きてゆけばと改めて思います。人間は皆「欲」を持っています。良い欲はいいのですが自分のわがまま，勝手な欲を表に出せば思いやりが無くなったり自分の事として考えられなくなったりと心が乏しくなってしまう。一人ひとりが心を豊かに明るく生きていくことが大切だと思います。一人ひとりの「力」が重要なのです。</p>
<p>子どものころ，狭山事件等勉強したが，正直大人になって人権を考えたことないです。子どもも狭山事件を知らないと思います。同性愛の友人がいるけど別に個性だと思うしわが子がそうなったら孫は見る事が出来ないけれど理解はしてあげたいです。結局教育をきちんとしてあげたらいいんじゃないですか？大人になって同和問題の事なんて考えたこともないしもし友人が本当は出身だったって聞いても友情は変わらないと思います。いろんな人がいるっていうのを普通に受け入れられる意識づくりが大切だと思います。</p>
<p>同和地区という言葉を知らない世代である。理解させることが家庭内ではなかなかできないのでこまった。</p>

普段人権とか差別について考えることがなかったのでこの調査で、色々な差別があることを知り驚きました。世の中いろんな人がいるのだから自分と違うという事で相手を拒否するのは間違っていると思います。ただ、差別があるから解決しようというより事情の違う人たちがみんな理解し合えるようになる、そんな社会になってほしいです。人権に対して問題視すると逆にそれにとらわれているように見えます。

人権問題について詳しく知っているわけではありませんが、アンケートでいろいろ考えるきっかけとなりました。みな平等のはずです。一人ひとりが意識を変えるのは難しいかもしれませんが大切だと思いました。

普段様々な人権問題について考える機会がなく、このアンケートを通じもっと関心を持たなくてはと思いました。私は精神疾患がありながらも仕事につくことが出来ました。病気の事は隠しながら仕事をしています。やはり偏見の目があるのではと思っているからだと思います。すべての人、どんな障害があっても皆で支えあいながら生きていく社会ができたらと思います

とても大切なことだからありがとうございます。\*などで説明を入れてほしいです。

人権問題と言っても自身の問題として考えた事が無いと思う。

こうして改めて人権問題のアンケートを書きながら今よりもっと小さな頃の方が同和教育や差別について考えていた様な気がしました。子どもができ、育ててる最中、”いじめ”など身近な事にばかり気をとられがちである様に思います。息子に”いじめたり”いじめられたり”していないかの確認ばかりで、親子でもっと人権等、ゆっくり話し合うことが大事だと思いました。人間皆平等であるはずなのにおそらく息子の目にはそううつてないのが今の世の中だと思います。小さなことですが人を思いやる心を成長と共に我が子自身にも学ばせ、感じながら育ててほしいと思いました。毎日育児に精一杯ですが、親子関係、家庭環境も”人権問題”にとっても大きく関わっていくことだと思います。

人権は時代と共に変化していると思います。私達、老人はその時代の変化に合わせる事が難しくなっています。個人情報保護法とともに町内等とてもつながりが薄くなり、人間関係も薄くなりました。このような時代に人権問題も発生するように感じています。